

令和6年度の重点課題

○男子では、「反復横とび」「シャトルラン」において、県平均値かつ全国平均値未満である。

○「1日の活動時間が30分未満の生徒が33.3%に対し、「1～2時間」「2時間以上」を合わせると66.6%となっており、運動習慣のレベルが二極化している。

○昨年度は女子の在籍がなかった。

上記の課題を受けて具体的に取組んだ事項

○体カテスト集計システムを導入し、個人のタブレットで体カテストの今年の結果や分析データ、過去の記録も見ることができるようにした。自己の記録の変化を確認することで、記録向上に向けて達成可能な目標を考えさせた。

○昼休憩に全校で運動に取り組む「運動ウィーク」や、全校レクリエーションの企画を委員会が取組んだ。

○定期的に記録を取り、自己の記録の変化を確認させて、記録向上の意欲につなげる。

令和7年度新体カテストの結果 県平均値(令和6年度)・全国平均値(令和5年度)との比較

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	持久走	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	持久走	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第2学年	27.50	31.50	38.00	54.50	109.50		7.65	203.00	24.00	47.00	第2学年	21.50	25.50	40.50	43.50	36.50		9.55	160.50	11.00	41.50

県平均値かつ全国平均値未満

令和7年度新体カテストの結果 県平均値(令和7年度)・全国平均値(令和6年度)との比較

令和7年度の県の調査結果が判明した後、最新の情報を公表します。

県平均値かつ全国平均値未満

運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか

学校独自の意識調査

男子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い	女子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
第2学年	100.00	0.00	0.00	0.00	第2学年	0.00	100.00	0.00	0.00

重点課題

情意面での課題

- 男子
 - ・運動やスポーツをすることが「好き」と答えた生徒の割合が100%である。情緒面での課題は見られない。
- 女子
 - ・運動やスポーツをすることが「やや好き」と答えた生徒の割合が100%である。苦手な運動に対して敬遠しがちな面がある。

体力面での課題

- 男子
 - ・「握力」、「長座体前屈」において、県平均値かつ全国平均値より低い。
- 女子
 - ・「上体起こし」以外の種目において、県平均値かつ全国平均値より低い。
- 全体
 - ・全員部活動に加入しているが、「1日の活動時間が30分以上1時間未満」の生徒が50%、「1時間以上2時間未満」の生徒が50%となっており、部活動の参加状況の改善が課題である。

重点課題に対応した改善する取組内容及び方法

体育の授業で行う取組内容

- ・準備運動の中に、授業で行う運動に関連した体力向上につながる運動を取り入れる。
 - ・バランスボール、なわ、ラダーなどを使った運動
 - 一人、二人、集団で組み合わせて行う運動
- ・体力集計システムの中で紹介された運動を、自分で選択させ、授業の中で取り組ませる。

体育の授業以外で行う取組内容

- ・委員会が主体となり、全校レクや運動ウィークなど、行間体育での取組を進める。
- ・オリンピック・パラリンピアン講演会を実施する。

令和8年度の重点目標値

- 新体カテストの総合評価(AB-DE)率80%を目指す。(今年度は25%)
- すべての種目において、得点平均が6以上を目指す。
- 体力総合評価が全員C以上を目指す。

令和6年度の重点課題

○男子では、「握力」、「長座体前屈」以外の種目において、県平均値かつ全国平均値未満である。

○女子では、「上体起こし」において、県平均値かつ全国平均値未満である。

○一日の活動時間が30分未満の児童は0%であるが、運動機会が月1～3日程度の児童が16.6%である。

○在籍児童数が少なく、男女比も偏りがあるため、活動できる内容に制限が多い。

上記の課題を受けて具体的に取組んだ事項

○遊びや競争の要素を取り入れて、仲間と楽しく運動ができるようにする。

○体カテスト集計システムを導入し、個人のタブレットで体カテストの今年の結果や分析データ、過去の記録も見るができるようにした。自己の記録の変化を確認することで、記録向上に向けて達成可能な目標を考えさせた。

○昼休憩に全校で運動に取り組む「運動ウィーク」や、全校レクリエーションの企画を委員会で取組んだ。

令和7年度新体カテストの結果 県平均値(令和6年度)・全国平均値(令和5年度)との比較

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	16.00	22.00	37.00	51.00	56.00	8.00	178.00	41.00	66.00	第5学年	16.67	22.00	44.00	44.00	41.00	9.00	152.00	20.33	64.00

県平均値かつ全国平均値未満

令和7年度新体カテストの結果 県平均値(令和7年度)・全国平均値(令和6年度)との比較

令和7年度の県の調査結果が判明した後、最新の情報を公表します。

県平均値かつ全国平均値未満

運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか

男子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い	女子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
第5学年	100.00	0.00	0.00	0.00	第5学年	66.67	33.33	0.00	0.00

学校独自の意識調査

--

重点課題

情意面での課題

- 男子
・在籍1名のみだが、運動やスポーツをすることが本当に好きである。複式学級で6年生と授業を受けているが、のびのびと活動している。
- 女子
・在籍3名で、運動やスポーツが「好き」「やや好き」と答えた児童の割合が100%である。単元の好き嫌いは多少あるが、運動そのものは楽しんでいる。

体力面での課題

- 男子:「握力」以外の種目は、県平均値、全国平均値ともに上回っている。
- 女子:すべての種目において、県平均値、全国平均値を上回っている。
- 全体:在籍4名中3名が総合評価Aである。複式で授業を行っている6年生と合わせて全体的な体力向上につなげていくこと。

令和8年度の重点目標値

- 新体カテストの総合評価(AB-DE)率80%を目指す。(今年度は75%)
- すべての種目において、得点平均6以上を目指す。
- 体力総合評価が全員B以上を目指す。

重点課題に対応した改善する取組内容及び方法

体育の授業で行う取組内容

- ・準備運動の中に、授業で行う運動につながる遊びの要素を取り入れた体づくりの運動を取り入れる。
バランスボール、なわ、ドッジボールなどを使った運動
一人、二人、集団で組み合わせて行う運動
- ・体カテスト集計システムの中で紹介された運動を自分で選択させ、授業の中で取り組ませる。

体育の授業以外で行う取組内容

- ・委員会が主体となり、全校レクや運動ウィークなど、行間体育での取組を進める。
- ・オリンピック、パラリンピックの講演会や、女子野球選手によるTボール教室を実施する。